



創刊昭和55年5月5日
第400号
【通巻401号】

発行所
よんいちほち
418こちら情報部
〒418-0063
富士宮市若宮町140(きうちいんさつ内)
TEL 0544 24-1515
E-mail: printkiuchi@space.ocn.ne.jp
印刷所
株式会社 きうちいんさつ

発刊 33年と4ヶ月、400号です！本当に長い長い期間、読者の皆様に支えられよく続いたなあと思ひ深い思ひです。

次号は10月5日の発行です。発行数15,500部



勝又肇 (淀平町)

先日、日本人女性の平均寿命が世界一に返り咲いたというニュースがありました。男性も世界第五位とのことで、日本には百歳以上の方が五万一千人以上いらっしゃるのだそうです。日本の企業も御長寿が多く、百年以上の歴史を持つ老舗が二万二千社以上、二百年を超える企業も三千社以上あり、これは世界二位のドイツの倍以上の数をほこる第一位。そのなかには、

創業五百年を超える会社が三十九もあるのだとか。「百」は、数字の一〇〇を示すとともに、数の多いことを示す言葉として用いられます。多くの人達が「百年長寿」や「百年企業」を目標とするのも、目標として掲げやすい数字だからでしょう。この「418こちら情報部」も、今回をもって四百号を迎えられました。どのようなものでも、長年続け

るには相応の努力と忍耐が必要であろうと思ひますが、本紙を四百回も刊行し続けるなかには、私には想像もできないほどの苦勞があったことだと存じます。創刊者の木内久仁彦様を

何を書こうかな

ある思い

萬歳

『静岡に住んでいて良かったなあ』と私が思うのは、海や山の美味しい食べ物を食する瞬間である。その中の一つに私の好物のシラスがある。この魚はイワシの子供で、茹でると白くなるのでシラス(白子)と呼ばれる様になったそうである。色々な食べ方があるが、私は釜揚げにしたものを大根おろしと和えて、醤油で食べるのが一番好きである。これさえあれば、他の

マンスリーエッセイ

シラス

「これから書かせてください」と。先日、

望月 勝

おかずがなくても何杯もご飯を食べることが出来る。また栄養面でも非常に優れていて、たくさんカルシウムやコレステロールを下げるEPAも多く含まれている。私の娘たちも小さい頃から『ちびっこおさかな』と呼んで頻りに食べていたが、食べていると、時々小さなタコやカニをシラスの中に見つけて大喜びをしていたものだった。恥ずかしながらも、私自身もそれらに遭遇すると、少し得をした様な気がして嬉しくなった。

角田 夫

見立て 富士
熱波に覆われた列島の夏。残暑は凄じ難いものであるが、いつとなく秋風が立つ。また、山や川などのたたずまいが次第に秋らしくなってきた。
歌人、石川啄木の「一握の砂」の中に故郷への懐かしさが、
汽車の窓
はるかに北にふるさとの山見え来れば
襟を正すも
旅めぐりをしていると、各地に「おらがの国の富士」、すなわち見立て富士に出くわすことがよくある。
全国の「ふるさと富士」の中で、独立峰で四周一周ができ、どこから見ても美しく、正に富士山、そつくりといえそうな山は、利尻富士(利尻岳)、蝦夷富士(後方羊蹄山)津軽富士(岩木山)、出羽富士(鳥海山)、八丈富士(西山)、薩摩富士(開聞岳)等々があげられる。
富士常葉大学名誉教授の竹林三氏は、
「富士山は、知ることの対象として大変奥が深く、また敬する対象としてもこれ以上になく高い。さらに地域風土に馴れることが求められている。しかし、その知敬訓の富士山を核とするも、それに二つとなき不二、死すことなき不死、尽きる事なき不尽、時知らずの不時、至ることのない不至、みずからもなくおのずからもない不自、福をいつくしむ福慈、あまねく慈む普慈等々の概念を包括した富士の概念は富士山概念よりさらにさらに大きいのである。」
——(富士学会企画「富士山を知る辞典」より)
俗に、三国一の富士の山と言われるように、駿河(静岡)の人も甲州の人も、お国自慢の第一は何と言っても富士山。いちばん身近にあって親しみやすい富士山。ですから富士山の見えない国(地方)の人は、地元の人に富士を冠して、さながら見立て富士に安堵感を味わう。

KEN

早立ちの下山の一步や涼新た

静岡県立朝霧野外活動センター
「すてきな秋をあなたに」
ちょっぴり早く「秋」が訪れる朝霧高原に家族やグループで遊びに来ませんか？
日時:10月5日(土)～6日(日)
「プラネタリウム一般開放」
～富士彩彩 富士山の自然・文化と、秋の星空(月のうさぎのお話)～
日時:16日(月・祝)
1部:13:15～受付 13:30～14:30上映
2部:15:00～受付 15:15～16:15上映
※詳細は後日センターHPにて発表いたします。
TEL:0544-52-0321
HP: http://asagiri.camping.or.jp/index.html

